

北沢タウンホール 様 地下駐車場全車室(32台)に 超音波センサーEP-Iを導入



[導入理由]

- 警備員を雇用して、駐車場の料金徴収管理を実施していたが、管理費用削減策として、コインパーク（集中精算方式、ロック板型）を導入を。
- 車両センサーとして、以下は採用不可とした。
 - ①磁気センサー : 床コンクリート掘削が大変。費用・工期ともに要する。
 - ②天井型超音波センサー: 排気ファン等が多く、風の影響で誤検知が発生する。
 - ③赤外線センサー : 車体色等の影響で誤検知が発生する。
- エクノスの超音波センサーを以下の理由で採用した。
 - ①床据置き型であり、工事が簡単。
 - ②天井型と異なり、風の影響も全くなく、検知精度が高い。



通風孔が多く、風が舞っている



天井は、配線で一杯

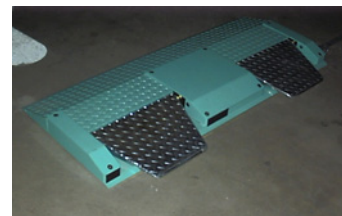
超音波センサー(EP-I)



※センサーのケーブルは、アスファルトテープで固定。センサー後部の配管は、ロック板用。



風雨に強く、屋外でも使用可能の床置き型センサーです。設置時調整が不要です。



ロック盤(概設)

超音波センサーによる検知で、在車時ロック板が上がるように設定しました。